

何を使う

機器 タブレット、スマートフォン

ソフトウェア（アプリ）

「カメラ」アプリ（撮影用）

iMovie（動画編集用のアプリ）



それをどう使う（それで何ができる）

【知的障がい・自閉症 自立活動「人間関係の形成・コミュニケーション」等】

- ① 生徒の目線（主観視点）で、実際に生徒が困難さを感じている生活場面を撮影する。
 - ・注視してほしいポイントを「指差し」し、撮影する。
- ② 生徒が集中して視聴できるよう、動画編集アプリで短時間（2～3分）に編集する。
- ③ 自分でタブレットを操作しながら、困難さを感じる画面で一時停止し、その対応について生徒同士で話し合う。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

【 Before 】

- 読み物やイラストを用いて同様の学習を行ってきたが、場面を想起することが難しい。



【 After 】 **メリット**

- 場面を想起しやすくなったことで、自分に置き換えて考え、発言できるようになった。
- 事後には、スムーズにロールプレイを行うなど、他の生徒と役割を入れ替えて学ぶことができるようになった。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他		学習 場面	一	個	協
	○	○					斉	別	働
	一斉学習では大型提示装置での提示、個別での提示						○	○	○
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続			1人1台端末		○
活用が想定さ れる校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		図画工作、美術、 作業学習		
	○	○	○	○	活用が想定される場面		導入時、工程の理解		